東京フィルハーモニー交響楽団
Tokyo Philharmonic Orchestra

2023
4

東京フィルの
午後のコンサート。

第96回 休日の午後のコンサート

2023年4月15日(土) 14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール
〈クラシックの車窓から〉

©上野隆文

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます
歴史を紡ぎ未来へと奏でるオーケストラの調べを
心ゆくまでお楽しみください

東京フィルハーモニー交響楽団

オフィシャル・サプライヤー

SONY　Rakuten　マルハン　LOTTE　ゆうちょ銀行

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団は上記の企業から特別なご支援をいただいております。

第96回 休日の午後のコンサート。

2023シーズン開幕!

2023.4.15(土) 14:00開演　東京オペラシティ コンサートホール
Sat. Apr. 15, 2023, 14:00 at Tokyo Opera City Concert Hall

〈クラシックの車窓から〉〈From the Classical Train's Window〉

指揮とお話　和田一樹　Kazuki Wada, conductor & speaker

サクソフォン　上野耕平* Kohei Ueno, saxophone

コンサートマスター 三浦章宏　Akihiro Miura, concertmaster

J.シュトラウスII：ポルカ『観光列車』(約3分)
J. Strauss II: Vergnügungszug (Pleasure Train), Polka schnell　(ca. 3 min)

オネゲル：『機関車パシフィック231』(約7分)
Honegger: Pacific 231 (Mouvement Symphonique No. 1)　(ca. 7 min)

酒井 格：シーサス・クロッシング* (約12分)
Itaru Sakai: Scissors Crossing　(ca. 12 min)

— 休憩 intermission —

和田一樹：京王ライナーオリジナルBGM「KO5000」(約5分)
Kazuki Wada: KO5000　(ca. 5 min)

ドヴォルザーク：交響曲第9番『新世界より』(約45分)
Dvořák: Symphony No. 9 "From the New World"　(ca. 45 min)

主催：公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団
協力：京王電鉄株式会社
Presented by Tokyo Philharmonic Orchestra
In Association with Keio Corporation

◎すべてのお客様に、快適にお楽しみいただくために / Dear audience

♪本公演は全席指定です。指定のお席にご着席ください。演奏開始間際の入場の際にはスタッフの案内で入場券記載とは異なる席への着席をお願いすることがございます。♪演奏中のご入場は、かたくお断りいたします。楽章間のご入場は楽曲の進行によりスタッフがご案内いたします。入場いただけない場合もございますのでご了承ください。♪曲間・楽章間での退場につきましては、体調に不安がある場合など、無理せずご判断ください。その際、周りのお客様の鑑賞の妨げとならぬよう、ご配慮いただければ幸いです。♪演奏中に、時計やスマートフォンのアラーム音等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。♪演奏は最後の余韻まで余さずお楽しみください。早すぎる拍手や声援は他のお客様の鑑賞の妨げとなる場合がございますので、ご配慮くださいますようお願いいたします。

♪All seats are reserved. Late admittance will be refused during the live performance. If you enter or reenter just before the concert or between movements, we may escort you to a seat different from the one to which you were originally assigned. ♪Exiting during the performance will be tolerated. If you do not feel well, please exit or enter as you need. However, please mind the other listeners so that they will be minimally disturbed. ♪Please refrain from using your cellphone or other electronic devices during performance. ♪Hold applause please. Please cherish the "afterglow" at the end of each piece for a moment before your applause.

出演者プロフィール

指揮とお話　和田一樹
Kazuki Wada, conductor & speaker

©RINZO

東京都中野区出身。2011年ブラジルロンドリーナ音楽祭優秀賞受賞、2015年第6回ブカレスト国際指揮者コンクール準優勝。2017年ヤシ・モルドヴァ・フィルハーモニー管弦楽団を指揮し、ヨーロッパデビュー。オーケストラと聴衆から熱狂的に支持され、楽団の総監督より「最年少最優秀客演指揮者」の称号を受け、毎シーズンの客演を続けている。ドラマ『のだめカンタービレ』、映画『マエストロ！』等で指揮指導を行った。これまでに、東京フィルハーモニー交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、富士山静岡交響楽団、ジョルジェ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団など国内外で指揮活動を展開。

サクソフォン　上野耕平
Kohei Ueno, saxophone

©S. Ohsugi

茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第1位・特別大賞（史上最年少）。2014年第6回アドルフ・サックス国際コンクール第2位。現地メディアを通じて日本でも話題になる。デビュー以来、常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。2017年度第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。NHK-FM『×（かける）クラシック』の司会やテレビ『題名のない音楽会』『情熱大陸』など、メディアへの出演も多い。音楽以外にも鉄道と車をこよなく愛し、深く追求し続けている。最新ソロアルバムは『アドルフに告ぐII』。

https://uenokohei.com

プログラム・ノート

解説＝酒井 格（作曲家）

「鉄道」を題材にした名曲の数々

書道、茶道、華道、柔道、剣道、弓道、いずれも日本が世界に誇る伝統文化と武道ですが、日本が世界に誇る叡智で忘れてはならない「道」。それが、150年の歴史を積み重ねてきた「鉄道」。今日はそんな鉄道を題材にした作品を集めたコンサートです。ヨーロッパの鉄道は日本よりもさらに50年ほど長い歴史があり、ベートーヴェンは間に合わなかったけれど、19世紀後半から鉄道を題材にした作品も多く生み出されました。今日は、鉄道を描いたさまざまなタイプの作品を、お楽しみください。

旅の始まりは快活なリズムに乗って

J.シュトラウスII：ポルカ『観光列車』

1825年9月、イギリスに世界初の鉄道が開通したのを皮切りに、ヨーロッパ各地で続々と鉄道が建設されるようになりました。そして新しい鉄道の開業をPRするために、多くの音楽が作られました。この曲もその一つで、1864年に発表されました。ポルカとは19世紀前半にチェコで生まれ、ウィーンでも大変人気のあった2拍子の舞曲です。そんなポルカのスタイルで書かれたこの曲は、非常に快活で、車掌が出発合図に使う笛が演奏に用いられるのも聴きどころです。弦楽器が刻むリズムは蒸気機関車のブラスト音（シュッシュッポッポ）だとも言われています。ところでシュトラウスII世は、鉄道は大変苦手（というか嫌い）だったそうです。でも、鉄道を題材にした、こんなに楽しい作品を仕上げました。仕事人ですね。

1825年、世界初の鉄道「ストックトン・アンド・ダーリントン鉄道」が開業した（ジョン・ドビンによる絵画）

機関車の走行を見事に再現した作品

オネゲル:『機関車パシフィック231』

オネゲルの数ある作品の中でも、ひときわ名高いこの作品は、1924年、オネゲルが32歳の時に発表されました。オネゲルは幼い頃から海や帆船、自動車や鉄道にも興味を持ち、この作品について「私はいつも機関車に熱烈な思いを寄せてきました。私にとって機関車は生き物です」「休息中の機械の静かな呼吸、エンジン始動の奮闘、それからスピードが徐々に上がり、情熱に駆られた状態、すなわち、時速120キロで夜通し蒸気を上げる300トンの列車の悲愴感に達するのです」と、語っています。その言葉通り、機関車の走行時の特性が、注意深い観察と、高度な作曲技法によって、見事に再現されています。ちなみに車輪が先輪2軸、動輪3軸、従輪1軸で構成されている機関車を「パシフィック型」と分類し、オネゲルの自筆譜の表紙にも、車軸配置が2-3-1の蒸気機関車が描かれています。ちなみに日本の蒸気機関車では「貴婦人」の愛称を持ち、現在も「SLやまぐち号」を牽引しているC57型が、パシフィック型です。

フランスで走っていた「パシフィック型」の機関車。車軸配置が前から2-3-1となっている ©stock.adobe.com

時代によって変わりゆく鉄道の音の記録

酒井 格：シーサス・クロッシング

本日もサキソフォン独奏をしてくれる上野耕平さんの依頼により書いた曲で、2021年に札幌交響楽団（指揮：秋山和慶）のコンサート「オーケストラで出発進行！」で初演された作品です。作曲の打ち合わせの時、鉄道と言えば「やっぱりガタンゴトンでしょ」と言うことになりました。鉄道のレールは1本が25mなのですが、つなぎ目に隙間ができるので、車輪が通る時に「ガタンゴトン」と言う音がするのです。

また「ガタンゴトン」の他にも、さまざまな鉄道に関わる音を描いています。蒸気機関車のブラスト音、昔の電車から最新式の電車のモーター音や、駅や車内のチャイムに警笛など。「あ、何かこの音聞いた事がある」なんて感じながら聞いてもらえると嬉しいです。

ただこの「ガタンゴトン」の音、レール接続の技術進歩によって、都市圏では徐々に聞けなくなりました。また電車の音は、特に変化が早く、ファンの間で「ドレミファインバータ」と親しまれた近未来的な音も、わずか20年ほどで、日本国内で聞けなくなってしまいました。この曲は私にとって、平成から令和にかけての鉄道の音の記録にもなりました。

最後に、タイトルの「シーサス・クロッシング」ですが、複線の線路に、ハサミを広げたように線路が配置されている分岐器で、列車が折り返す駅でよく見かけることができます。新旧さまざまな列車が、これからも変わることなく、大勢の人たちの夢と笑顔を乗せて、行き交い続けるよう願いを込めて名付けました。

京王電鉄京王線笹塚駅のシーサス・クロッシング。複数の線路がハサミを広げたように交差し、分岐してゆく　写真提供：京王電鉄株式会社

雨の夜には列車のライトを浴びて幻想的に光る

家路につく人々への穏やかで優しい旋律

和田一樹：京王ライナーオリジナルBGM「KO5000」

2018年に新型の5000系電車で運行を開始した京王ライナー。その始発駅で、発車前に車内で流れているBGM。本日のマエストロ、和田一樹さんの作品で、2018年の第25回京王音楽祭チャリティーコンサートにて、東京フィルハーモニー交響楽団（指揮：曽我大介）により初演されました。京王ライナーの導入に携わった京王電鉄の社員の方が、市民オーケストラでヴァイオリンを演奏されていたこと。また和田さんが、そのオーケストラの常任指揮者を務められていたご縁で、依頼され作曲することになったそうです。「仕事帰りに着席してゆったり帰宅したい」というニーズに応えられるよう、新宿から八王子、多摩センター方面への運行が始まった列車でしたので、曲は全体を通して穏やかな優しい曲想で、「家路」として知られるドヴォルザークの交響曲『新世界より』第2楽章の旋律が引用されています。また、ヴァイオリンをこよなく愛する依頼者のために、独奏ヴァイオリンが大きな役割を担っています。今日はコンサートホールでのライブ演奏でお楽しみください。

大の鉄道好きだったドヴォルザークの傑作

ドヴォルザーク：交響曲第9番『新世界より』

1892年、ドヴォルザークは、ニューヨークのナショナル音楽院院長として、アメリカに移り住むことになります。当初、母国を離れることを躊躇したドヴォルザークでしたが、音楽院創設者からの熱心な要請と、破格な報酬を提示されたことで、この要請に応じました。またドヴォルザークはクラシックの作曲家の中でも大の鉄道好き、アメリカ大陸の鉄道や蒸気船に興味があったことも、移住のきっかけとなったようです。

ドヴォルザークは、新任地で作曲やオーケストレーションの指導など、音楽院院長としての仕事を熱心にこなすとともに、アメリカに移住して、初めての大きな作品として手掛けたのが、この交響曲第9番で、1893年の初めから同年の5月にかけて作曲されました。

黒人霊歌などのアメリカの民俗音楽や文学、アメリカの文化に多くの刺激を受け、第2楽章と、第3楽章は、アメリカの詩人、ロングフェローの叙事詩「ハイアワ

サの歌」より「森の葬儀」にインスピレーションを受けたとされています。しかし、アメリカの民俗音楽などが、そのままの形で盛り込まれているというわけではなく、ドヴォルザークが故郷ボヘミアで積み重ねてきた音楽が、異国の文化に刺激を受けたことで、さらに輝きを増していると言えるでしょう。

ところで、第1楽章の冒頭でチェロの旋律に続くホルンは蒸気船の汽笛（ポポー）。第3楽章の、弦楽器が刻むリズムは蒸気機関車のブラスト音。第4楽章冒頭の弦楽器は、列車が徐々に加速していく様子だとよく言われますが、本日のソリスト上野さんによると、第3楽章中間部のチェロバス（チェロとコントラバス）とティンパニの掛け合いは「ガタンゴトン」で、同じく第3楽章コーダの弦楽器の激しいトレモロは、蒸気機関車が蒸気を一気に吐き出す音ではないかとのこと。鉄道好きの私も、大いに共感するところです。

ドヴォルザークが毎日のように鉄道を見に行っていたグランド・セントラル駅（1876年頃の絵）

さかい・いたる（作曲家）／大阪音楽大学大学院作曲専攻を修了。吹奏楽作品を中心に新作を多数発表。平成21年以降、選抜高校野球大会入場行進曲の編曲を担当。平成28年度・第25回日本管打・吹奏楽アカデミー賞（作編曲部門）受賞。平成23、26、27、28、30年度、JBA下谷賞受賞。21世紀の吹奏楽「響宴」会員。大阪音楽大学非常勤講師。

次回の午後のコンサート。

お客様の質問募集中!

休日

第97回　休日の午後のコンサート
6月11日(日)14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

©hiro.pberg_berlin

©Akira Muto

〈よくばりヴァイオリン〉
指揮とお話: 出口大地
ヴァイオリン: 松田理奈*

ハチャトゥリアン／バレエ音楽『ガイーヌ』より“剣の舞”
ヴィヴァルディ／『四季』より「春」*
チャイコフスキー／ヴァイオリン協奏曲より第1楽章*
メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲より第3楽章*
ベートーヴェン／交響曲第5番『運命』

出口大地　第17回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門にて日本人初の優勝。クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位及びオーケストラ特別賞。2022年7月、東京フィルハーモニー交響楽団との定期演奏会にて日本デビュー。その後も続々と日本各地のオーケストラへのデビューが決定している。東京およびベルリンを拠点に各地で活動中。

松田理奈　東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校卒業後、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースにて研鑽を積み、2006年ドイツ・ニュルンベルク音楽大学に編入。2007年に同大学を卒業、2010年同大学院を満場一致の首席で修了、ドイツ国家演奏家資格を取得。14歳で初めてのソロリサイタルを開催。国内外の著名なオーケストラと共演を重ねている。

シーズン開幕!

平日

第29回　平日の午後のコンサート
5月1日(月)14:00開演
東京オペラシティ コンサートホール

〈春のイチバン〉
指揮とお話:角田鋼亮
ピアノ:五十嵐薫子*

モーツァルト／歌劇『フィガロの結婚』序曲
リスト／ピアノ協奏曲第1番*
シューマン／交響曲第1番『春』
エルガー／行進曲『威風堂々』第1番

シーズン開幕!

渋谷

第17回 渋谷の午後のコンサート
5月7日(日)14:00開演
Bunkamura オーチャードホール

〈マエストロ・ズーカーマン!〉
指揮とヴィオラとお話:ピンカス・ズーカーマン
ヴァイオリン:三浦文彰*

モーツァルト／歌劇『魔笛』序曲
モーツァルト／
ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲*
ベートーヴェン／交響曲第7番

お申込み・お問合せは
東京フィル
チケットサービスまで

03-5353-9522(平日10時～18時／土日祝休　発売日の土曜日のみ10時～16時営業)
https://www.tpo.or.jp/(24時間受付・座席選択可)

午後のコンサート。2023シーズンのラインナップ

大人気シリーズ「午後のコンサート。」2023シーズンが開幕いたしました。オーケストラの名曲と音楽家のとっておきのお話で楽しむ午後のひととき。今季もひきつづき、東京フィルの午後のコンサートをお楽しみください。ただ今、5月・6月公演の1回券を販売しております。皆様のご来場をお待ちしております。

渋谷の午後のコンサート　会場:Bunkamuraオーチャードホール　開演14:00

5月7日(日)
第17回
〈マエストロ・ズーカーマン!〉
指揮とヴィオラとお話:
ピンカス・ズーカーマン
ヴァイオリン:
三浦文彰
1回券 発売中

©Cheryl Mazak　©Yuji Hori

7月9日(日)
第18回
〈コパケン・クライマックス〉
指揮とお話:
小林研一郎
ヴァイオリン:
服部百音
1回券 5月発売
※7月6日「平日の午後のコンサート」と一部同演目です。

©山本倫子　©Yuji Inagaki

9月18日(月・祝)
第19回
〈秋の大感謝祭〉
指揮とお話:
角田鋼亮
ゲスト(ピアノ):
園田隆一郎、三ツ橋敬子
1回券 5月発売

©Fabio Parenz
©Hikaru Hoshi　©Earl Ross

11月5日(日)
第20回
〈なんでもOKストラ!!〉
指揮とお話:
円光寺雅彦
ピアノ:
清塚信也
※11月6日「平日の午後のコンサート」と同演目です。

©三浦興一　©Yuji Takeuchi

※東急百貨店本店跡地の再開発に伴い、「渋谷の午後のコンサート」は当面の間、週末の開催になります。

平日の午後のコンサート　会場:東京オペラシティ コンサートホール　開演14:00(託児可)

5月1日(月)
第29回
〈春のイチバン〉
指揮とお話:
角田鋼亮
ピアノ:
五十嵐薫子
2022年ジュネーヴ国際音楽コンクール第3位
1回券 発売中

©Hikaru Hoshi　©井村重人

7月6日(木)
第30回
〈コパケン・クライマックス〉
指揮とお話:
小林研一郎
ピアノ:
小林亜矢乃
1回券 5月発売
※7月9日「渋谷の午後のコンサート」と一部同演目です。

©山本倫子　©Hiromi Uchida

8月7日(月)
第31回
〈真夏の午後の夢〉
指揮とお話:
出口大地
ピアノ:
清水和音
1回券 5月発売

©hiro.pberg_berlin　©Mana Miki

11月6日(月)
第32回
〈なんでもOKストラ!!〉
指揮とお話:
円光寺雅彦
ピアノ:
清塚信也
※11月5日「渋谷の午後のコンサート」と同演目です。

©三浦興一　©Yuji Takeuchi

休日の午後のコンサート　会場:東京オペラシティ コンサートホール　開演14:00(託児可)

6月11日(日)
第97回
〈よくばりヴァイオリン〉
指揮とお話:
出口大地
ヴァイオリン:
松田理奈

1回券
発売中

©hiro.pberg_berlin　©Akira Muto

9月3日(日)
第98回
〈コバケンのベートーヴェン!〉
指揮とお話:
小林研一郎
ピアノ:
小林亜矢乃

1回券
5月発売

©上野隆文　©Hiromi Uchida

12月3日(日)
第99回
〈クリスマス in ニューヨーク〉
指揮とお話:
円光寺雅彦
ヴァイオリン:
廣津留すみれ

©K.Miura ©Ryuto Kurokawa

曲目等詳細は東京フィルウェブサイトまたは別途配布するご案内をご覧ください。

午後のコンサート。2023シーズンの発売スケジュールについて

◆7月・8月・9月公演1回券の発売スケジュール

最優先※お電話のみ(賛助会員様、定期会員様)	5/16(火)10:00
優先※お電話のみ(東京フィルフレンズ会員様)	5/20(土)10:00
優先(WEB優先発売)	5/20(土)10:00～3/21(火・祝)23:59
一般発売	5/30(火)10:00

チケット料金	S席	A席	B席	C席
1回券(定価)	¥5,700	¥4,600	¥3,100	¥2,100
(東京フィルフレンズ会員)	¥5,130	¥4,140	¥2,790	¥1,890

※1回券は4回セット券の販売後、残席ある場合のみ販売いたします。
すでに残席が少ないシリーズやセット券で完売している席種もございます。詳しくはお問合せください。

お問合せ・お申込み　東京フィルチケットサービス
03-5353-9522(平日10時～18時／土日祝休　発売日の土日祝のみ10時～16時で営業)
東京フィルWEBチケットサービス　https://www.tpo.or.jp/

2023シーズン　今後の定期演奏会

東京フィルの2023シーズン定期演奏会、今季も名匠と俊英のタクトのもと、活躍目覚ましい音楽家たちとの協演でお届けしています。“オペラの東京フィル”が誇る《オペラ演奏会形式》上演は、名誉音楽監督チョン・ミョンフンによるヴェルディの傑作『オテロ』(7月定期演奏会)。他にも要注目の演目が盛りだくさんです。お聴き逃しなく!

6・7・10・11月定期の1回券発売スケジュール

最優先(賛助会員・定期会員様)	発売中　※お電話のみ
優先(東京フィルフレンズ会員様)	発売中　※お電話のみ
WEB優先(インターネットからどなたでも1割引き)	発売中 ～4月24日(月)23:59
一般	4月25日(火)10:00～

5月	**指揮: ミハイル・プレトニョフ** (特別客演指揮者) 第984回 5月10日(水)19:00 サントリーホール 第154回 5月12日(金)19:00 東京オペラシティ コンサートホール 第985回 5月14日(日)15:00 Bunkamuraオーチャードホール	ラフマニノフ／幻想曲『岩』 ラフマニノフ／交響詩『死の島』 ラフマニノフ／交響的舞曲 (ラフマニノフ生誕150年) ◀ 聴きどころはこちらから 1回券発売中
6月	**指揮: 尾高忠明**(桂冠指揮者) **ピアノ: 亀井聖矢*** (2022年ロン=ティボー国際音楽コンクールピアノ部門優勝) 第155回 6月23日(金)19:00 東京オペラシティ コンサートホール 第986回 6月25日(日)15:00 Bunkamuraオーチャードホール 第987回 6月27日(火)19:00 サントリーホール	尾高惇忠／オーケストラのための『イマージュ』 ラフマニノフ／ピアノ協奏曲第2番* ラフマニノフ／交響曲第1番 (ラフマニノフ生誕150年) ◀ 聴きどころはこちらから 1回券優先発売中

7月	**指揮: チョン・ミョンフン** （名誉音楽監督） 第988回 7月23日（日）15:00 Bunkamuraオーチャードホール 第156回 7月27日（木）19:00 東京オペラシティ コンサートホール 第989回 7月31日（月）19:00 サントリーホール	ヴェルディ／歌劇『オテロ』 オペラ演奏会形式 オテロ：グレゴリー・クンデ デズデーモナ：小林厚子 イアーゴ：ダリボール・イェニス ロドヴィーコ：相沢 創 カッシオ：フランチェスコ・マルシーリア エミーリア：中島郁子 ロデリーゴ：村上敏明 モンターノ：青山 貴 伝令：タン・ジュンボ 合唱：新国立劇場合唱団（合唱指揮：冨平恭平） 1回券優先発売中
10月	**指揮: クロエ・デュフレーヌ** （2021年ブザンソン国際指揮者コンクール聴衆賞、オーケストラ賞） **ヴァイオリン: 中野りな*** （2022年仙台国際音楽コンクール優勝） 第157回 10月18日（水）19:00 東京オペラシティ コンサートホール 第990回 10月19日（木）19:00 サントリーホール 第991回 10月22日（日）15:00 Bunkamuraオーチャードホール	リリ・ブーランジェ／春の朝に （リリ・ブーランジェ生誕130年） サン=サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番* ベルリオーズ／幻想交響曲 1回券優先発売中
11月	**指揮: アンドレア・バッティストーニ** （首席指揮者） **チェロ: 佐藤晴真*** （2019年ARDミュンヘン国際音楽コンクール優勝） 第992回 11月10日（金）19:00 サントリーホール 第993回 11月12日（日）15:00 Bunkamuraオーチャードホール 第158回 11月16日（木）19:00 東京オペラシティ コンサートホール	チャイコフスキー／幻想曲『テンペスト』 チャイコフスキー／ ロココの主題による変奏曲* チャイコフスキー／幻想序曲『ハムレット』 チャイコフスキー／ 幻想序曲『ロメオとジュリエット』 （チャイコフスキー没後130年） 1回券優先発売中

お問合せ　東京フィルチケットサービス

Tel　03-5353-9522（平日10時～18時・土日祝日休／発売日の土日祝は10時～16時）

URL　www.tpo.or.jp/（24時間受付・座席選択可）

詳細は

News & Information

軽井沢大賀ホールクラシックス2023　開催決定!

◆阪田知樹ピアノ・リサイタル

©HIDEKI NAMAI

日時・会場　8月12日（土）15:00開演（14:15開場）軽井沢大賀ホール
出演　阪田知樹（ピアノ）※東京フィルハーモニー交響楽団の出演はありません。
曲目　ショパン／24の前奏曲Op.28
リスト／巡礼の年第2年「イタリア」S.161/R.10 より　他

◆奇跡のチェロ・アンサンブル2023

©Takashi Okamoto　©Charlo tteFielding

©Yuji Hori　©Shigeto Imura

日時・会場　8月13日（日）15:00開演（14:15開場）
軽井沢大賀ホール
出演　辻本玲、横坂源、伊藤悠貴、小林幸太郎、
岡本侑也、上野通明（チェロ）
※東京フィルハーモニー交響楽団の出演はありません。
曲目　クレンゲル／讃歌
グリーグ／組曲『ホルベアの時代から』
サン＝サーンス／序奏とロンド・カプリチオーゾ
ピアソラ／ブエノスアイレスの四季 ～『夏』『秋』『冬』『春』　他

料金（各公演共通・全席指定・税込）
SS席¥8,000　S席（1階・2階）¥7,000　A席¥6,000　B席¥4,500
W席（2階合唱席）¥3,000　C席（2階立見席）¥2,500

チケット発売日　4月22日（土）
チケット問合せ　軽井沢大賀ホールチケットサービス **0267-31-5555**（10:00～18:00）
主催：軽井沢大賀ホールCLASSICS実行委員会（実行委員長 大賀緑）／協賛：東通産業株式会社／協力：公益財団法人軽井沢大賀ホール、公益財団法人東京フィルハーモニー交響楽団、ハーベスト・コンサーツ／後援：軽井沢町、軽井沢町教育委員会

4月より打楽器に秋田孝訓（あきた たかのり）が入団いたしました。

「みなさま、はじめまして、打楽器の秋田孝訓です。
伝統あるオーケストラの一員となれる事を大変誇りに思います。クラシカルなものはもちろん、JAZZなども大好きなので、バレエ、オペラからポップスまで幅広いジャンルの音楽をこのオーケストラの中で演奏出来る事がとても楽しみです。みなさまに感動していただけるような音楽の一部になれるよう日々精進していきたいと思います。お客様、オーケストラの皆様、これからどうぞ宜しくお願い致します」。

Photo Reports　2023年3月の演奏会より

3月の定期演奏会には首席指揮者アンドレア・バッティストーニが登場、マエストロの故郷イタリアとフランスを繋ぐ3曲の管弦楽作品をお届けしました。また新宿区、静岡県磐田市に登場。市民合唱団との共演で２つの合唱付き作品を奏でました。

写真=寺司正彦(3/9)/上野隆文(3/10, 12)

3月定期演奏会(3/9, 10, 12)

指揮：アンドレア・バッティストーニ(首席指揮者)
オルガン：石丸由佳
コンサートマスター：近藤薫

ベルリオーズ／序曲『ローマの謝肉祭』
カゼッラ／狂詩曲『イタリア』(カゼッラ生誕140年)
サン=サーンス／交響曲第3番『オルガン付き』*

今回も表情豊かに、かつ精緻にオーケストラを牽引したマエストロ(3/12)

初日は東京オペラシティコンサートホールにて。美しいオルガンの音が響きました(3/9)

カゼッラの狂詩曲『イタリア』では、シチリアやナポリの民謡から採られたメロディが組み込まれ、イタリアの歴史の光と影が鮮やかに描かれました (3/12)

ご報告

3月12日オーチャード定期演奏会の開演前には、賛助会員様・定期会員様をお招きし公開リハーサルを開催しました。リハーサル後のマエストロのトークでは「会場によって響きが変わるので、それぞれのホールに最適な音をチェックする」など秘訣が語られ、来場者からは「マエストロのこだわりを知ることができた」「オーケストラの工場見学のようで興味深かった」などご好評いただきました。

集中力高いリハーサルを終え、賛助会員・定期会員の皆様にご挨拶するマエストロ

新宿文化センター×東京フィルハーモニー交響楽団ベルリオーズ「レクイエム」(3/18)

指揮：アンドレア・バッティストーニ
テノール：宮里直樹
合唱：新宿文化センター合唱団
（合唱指導／山神健志）
コンサートマスター：三浦章宏

ベルリオーズ／レクイエム

巨大な編成を要し、滅多に演奏されないベルリオーズの大曲を新宿文化センター合唱団の皆様と共演
©スタッフ・テス

東京フィルハーモニー交響楽団と市民合唱団が高らかに奏でる『第九』(3/21)

指揮：アンドレア・バッティストーニ
ソプラノ：中井奈穂　メゾソプラノ：山下裕賀
テノール：清水徹太郎　バス：上江隼人
合唱：メモリアル「第九」合唱団
コンサートマスター：三浦章宏

ブラームス／大学祝典序曲
ベートーヴェン／交響曲第9番ニ短調『合唱付き』

静岡県磐田市民文化会館「かたりあ」開館を記念して結成されたメモリアル「第九」合唱団との共演で、新たな文化の拠点のオープンを祝いました

心に響く音楽体験
——物心ついた時に側にあったのは、バロック音楽でした。

ASEAN歯科医療ネットワーク 代表理事
和久本歯科医院 院長
和久本 雅彦

東京フィルのゆかりの方々に、クラシック音楽に魅了されたきっかけや音楽生活について綴っていただく本連載。第14回は、歯科医師として医院経営しつつ、ASEAN地域の歯科医療に携わる和久本雅彦様です。パートナー会員として東京フィルをご支援くださっています。物心ついたときに触れたバロック音楽の想い出を綴ってくださいました。

物心ついた時、父の仕事の関係で、デンマークのコペンハーゲンに住んでいました。父は旅行が好きで、休みのたびに家族で列車の旅をしました。特にウィーンは、足繁く訪れた街の一つでした。当時から好奇心旺盛だった自分は、ベートーヴェンハウスや、シューベルトの生家に展示されていたピアノを触って怒られたりしました。

母は音大の声楽科を卒業し、日本に帰国後は演奏活動をしながら最近まで弟子を取って教えていました。自分が物心ついた時に住んでいた家も、1階がレッスン室や歯科の診療所、2階が自宅という作りでしたので、毎晩布団に入ると枕越しに母が自分で練習する歌が聞こえていたのを覚えています。

そんな家庭でしたので、家にいる時にはほとんど一人で遊んでいました。そんな自分に母が買い与えてくれたのが、簡単なレコードプレイヤーと、もう散逸してしまいましたが、当時どこかの出版社から発売されていた「偉大なクラシック音楽家の生涯」というようなタイトルのシリーズのレコードでした。このレコードは、1965年くら

2022年11月、教え子のクリニックでベトナムホーチミン市の保育園児の検診を行いました。大きな体は子供たちに大人気で、終わった後もなかなか離れてくれませんでした

いから発売されたようで、7～8年は続いたでしょうか。ドラマ仕立てて作曲家の生涯をその代表曲を挿入して辿るもので、第1巻が「ヘンデル」次が「バッハ」で、全部で20巻くらいあったと思います。

中でも、自分が好んで聞いていたのは、バッハとヘンデルでした。還暦を過ぎた今でも、断片的ですがこの2枚のレコードの曲や台詞は、時折思い出すほどです。内容が一番残っているのは、ヘンデルです。ドラマの最初のクライマックスである『水上の音楽』が流れるくだりには毎回ドキドキして、ワクワクが止まりませんでした。自分にとってのクラシックはバロック音楽であったと言えると思います。

自分は「門前の小僧」でピアノを嗜みますが、生まれて初めて弾いたのは、バッハの「メヌエット」でした。和音ではなく、単純な音の繋がりがとても好きでした。ベトナム、ホーチミン市の自分のオフィスの受付には古いアップライトピアノがあり、時々スタッフに内緒で触っています。

32歳の時にご縁をいただいて英国で勤務するようになってからは、ヘンデルの足跡を辿って、墓所のウェストミンスター寺院を始め、ヘイマーケット劇場などへ足を運びました。

数年前より、ご縁をいただいて東京フィルハーモニー交響楽団の支援者をさせていただいていますが、東京電機大学時代、音響効果の確認のため、音場計測をさせていただいたサントリーホールに足繁く通える喜びを満喫させていただいています。コロナ前の改修で反射板が新しくなり、金管楽器の響きが一層良くなったように思います。

和久本雅彦（わくもと・まさひこ）
歯科医師の父と、声楽家の母との間に生まれる。歯科医師免許取得後、工学部で音響工学を学ぶ。英国、ドイツ、アメリカ等で勤務後、2007年和久本歯科医院の４代目院長に就任。専門は音響音声学のため、通院される声楽家、楽団員の方も多い。2012年にASEAN歯科医療ネットワークを設立。発展途上国の歯科教育に献身している。

すっかり春らしい温かい季節となりました。
皆様におかれましてはお健やかにお過ごしのことと存じます。
マエストロの名曲にまつわるお話、楽団の奏でる音色と共に
優雅な午後のひとときをお過ごしいただけますと幸いです。
引き続き、当楽団を何卒よろしくお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団 理事長　三木谷 浩史

賛助会

東京フィルハーモニー交響楽団の活動は、皆様のご寄附により支えていただいております。
ここに法人ならびに個人賛助会員（パートナー会員）の皆様のご芳名を掲げ、
改めて御礼申し上げます。

オフィシャル・サプライヤー（敬称略）

ソニーグループ株式会社	代表執行役　会長 CEO	**吉田 憲一郎**
楽天グループ株式会社	代表取締役会長兼社長	**三木谷 浩史**
株式会社マルハン	代表取締役 会長	**韓 昌祐**
株式会社ロッテ	代表取締役社長執行役員	**牛膓 栄一**
株式会社ゆうちょ銀行	取締役兼代表執行役社長	**池田 憲人**

法人会員

賛助会員（五十音順・敬称略）

(株)IHI
代表取締役社長　井手 博

(株)アイエムエス
取締役会長　前野 武史

(医)相澤内科医院
理事長　相澤 研一

アイ・システム(株)
代表取締役会長 兼 社長　松﨑 務

(株)アシックス
取締役会長　尾山 基

(株)インターテクスト
代表取締役　海野 裕

ANAホールディングス(株)
代表取締役社長　芝田 浩二

(株)NHKエンタープライズ
代表取締役社長　松本 浩司

大塚化学(株)
特別相談役　大塚 雄二郎

(株)オーディオテクニカ
代表取締役社長　松下 和雄

(公財)オリックス宮内財団
代表理事　宮内 義彦

カシオ計算機(株)
代表取締役 会長　樫尾 和宏

キヤノン(株)
代表取締役会長兼社長 CEO　御手洗 冨士夫

(株)グリーンハウス
代表取締役社長　田沼 千秋

サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長　新浪 剛史

信金中央金庫
理事長　柴田 弘之

(株)J.Y.PLANNING
代表取締役　遅澤 准

(株)滋慶
代表取締役社長　田仲 豊徳

(株)ジーヴァエナジー
代表取締役社長　金田 直己

菅波楽器(株)
代表取締役社長　菅波 康郎

相互物産(株)
代表取締役会長　小澤 勉

ソニーグループ(株)
代表執行役　会長 CEO 吉田 憲一郎

ソニー生命保険(株)
代表取締役社長　萩本 友男

(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長CEO　村松 俊亮

(株)大丸松坂屋百貨店
代表取締役社長　澤田 太郎

都築学園グループ
総長　都築 仁子

東急(株)
取締役社長　髙橋 和夫

東京オペラシティビル(株)
代表取締役社長　長島 誠

東レ(株)
代表取締役社長　日覺 昭廣

TOPPANエッジ(株)
代表取締役社長　添田 秀樹

DOWAホールディングス(株)
代表取締役社長　関口 明

(株)ニチイケアパレス
代表取締役社長　秋山 幸男

(株)ニフコ
代表取締役会長　山本 利行

日本ライフライン(株)
代表取締役社長　鈴木 啓介

(株)パラダイスインターナショナル
代表取締役　新井 秀之

富士電機(株)
代表取締役会長 CEO　北澤 通宏

(株)不二家
代表取締役社長　河村 宣行

(株)三井住友銀行
頭取CEO　福留 朗裕

三菱地所(株)
執行役社長　中島 篤

三菱倉庫(株)
相談役　宮崎 毅

(株)三菱UFJ銀行
特別顧問　小山田 隆

ミライラボバイオサイエンス(株)
代表取締役　田中 めぐみ

(株)明治
代表取締役社長　松田 克也

森ビル(株)
代表取締役社長　辻 慎吾

ヤマトホールディングス(株)
代表取締役社長　長尾 裕

(株)山野楽器
代表取締役社長　山野 政彦

ユニオンツール(株)
代表取締役会長　片山 貴雄

(医)ユベンシア
理事長　今西 宏明

楽天グループ(株)
代表取締役会長兼社長　三木谷 浩史

(株)リソー教育
取締役会長　岩佐 実次

後援会員

(株)アグレックス
代表取締役社長　山本 修司

(医)エレソル　たにぐちファミリークリニック
理事長　谷口 聡

欧文印刷(株)
代表取締役社長　和田 美佐雄

(有)オルテンシア
代表取締役　雨宮 睦美

(医)カリタス菊山医院
理事長　加藤 徹

(医)だて内科クリニック
理事長　伊達 太郎

(宗)東京大仏・乗蓮寺
代表役員　若林 隆壽

(一社)凸版印刷三幸会
代表理事　金子 眞吾

(株)トレミール
代表取締役　茶谷 幸司

(株)日税ビジネスサービス
代表取締役会長兼社長　吉田 雅俊

富士通(株)
代表取締役社長　時田 隆仁

本田技研工業(株)
取締役　代表執行役社長　三部 敏宏

三菱電機(株)
執行役社長　漆間 啓

ご支援の御礼とお願い

昨今の社会情勢において、皆様からたくさんの励ましのお言葉とともに、東京フィルに温かいご支援をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団は、1911年（明治44年）に創設され、この西洋発祥の音楽文化を日本の近代化の中でいちはやく受容し、様々な試行錯誤を繰り返しつつ、音楽を社会に届けるという使命を貫いて参りました。

東京フィルは世界でも数少ない自主運営の楽団です。

今後もさらに安定的・発展的な財政基盤を構築し、いっそうの発展をはかるために、皆様のご寄附が力となります。

皆様におかれましては、あらためて当団を取り巻く状況についてご理解を賜りますとともに、一層のご支援・ご助力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。東京フィルが取り組む、実り豊かな未来を創る活動へのご支援をお願い申し上げます。

弊団へのご寄附をいただけます際には、こちらの口座のいずれかにお振込みいただけましたら幸いです。個人として1万円以上、法人として30万円以上のご寄附をご検討いただける際は、賛助会（次ページ）も併せてご覧ください。

金融機関名	口座番号	口座名義
ゆうちょ銀行（郵便振替）	00120-2-30370	公益財団法人 東京フィルハーモニー 交響楽団
三井住友銀行・ 東京公務部（096）	普通預金 3003239	

※ ご寄附の金額は自由に設定いただけます。
※ 振込手数料、通信費は恐れ入りますがご負担くださいますようお願い申し上げます。
※ 領収証書が必要な方は、お手数ですがお振込後に、別途配布しております「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、下記へご送付ください。

寄附申込書はこちらからも取得いただけます。
https://www.tpo.or.jp/support/img/support_TPO.pdf

【ご支援のお問合せ／寄附申込書　送付先】

公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団·広報渉外部　寄附担当
〒163-1408　東京都新宿区西新宿3-20-2　東京オペラシティタワー8階
Fax　03-5353-9523　　Eメール: partner@tpo.or.jp
Tel　03-5353-9521（土日祝日を除く10時～18時）

東京フィル　賛助会 会員募集中

2023年に東京フィルハーモニー交響楽団は創立112年を迎えました。

これまでの歩みは、東京フィルとその音楽を愛する皆様の日頃からの大きなご支援とご助力なしには実現しえないものでした。心より御礼申し上げます。

東京フィルは 1月をシーズンのスタートに据え、年間を通じて皆様の暮らしに音楽をお届けしてまいります。国際的に活躍する音楽家や将来を嘱望される若い演奏家を招いての定期演奏会や「午後のコンサート」シリーズ、「第九」「ニューイヤーコンサート」などの特別演奏会や提携都市公演、学校や公共施設での音楽活動を通じ、今後も社会に広くオーケストラの価値を認知いただけるよう活動を続けてまいります。この活動を通じて、日本の芸術文化の発展に寄与し、今後ますます多様化・複雑化するグローバル社会において不可欠な心の豊かさ・寛容さを育み、次世代へと続く文化交流の懸け橋となるよう、より一層努めてまいります。

ぜひとも皆様方からの継続的なご支援を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

東京フィルハーモニー交響楽団

賛助会（法人／パートナー（個人））会員の種別

種別		年会費1口	
オフィシャル・サプライヤー		詳細はお問い合わせください。	
法人会員	賛助会員	50万円	※東京フィルハーモニー交響楽団は内閣府により「公益財団法人」に認定されており、ご寄附の金額に応じて税法上の優遇措置を受けることができます。 その他特典、お申込みや資料請求など、詳しくは東京フィル広報渉外部担当へお問合せください。
	後援会員	30万円	
パートナー会員	ワンハンドレッドクラブ	100万円	
	フィルハーモニー	50万円	
	シンフォニー	30万円	
	コンチェルト	10万円	
	ラプソディ	5万円	
	インテルメッツォ	3万円	
	プレリュード	1万円	

寄附をご検討くださいます際には、主催公演会場「主催者カウンター」または東京フィル担当（partner@tpo.or.jp）までお尋ねください。資料をお送りいたします。ご入会の後は、1年ごとに継続のご案内をお送りいたします。

【賛助会に関するお問合せ・お申込み】

東京フィルハーモニー交響楽団　広報渉外部（担当：星野・鹿又（かのまた））
電話：03-5353-9521（平日10時～18時）　Eメール：partner@tpo.or.jp

皆様のご寄附は東京フィルの様々な活動を支えています。

フランチャイズ･ホール、事業提携都市との連携

東京フィルは、フランチャイズ･ホールであるBunkamuraオーチャードホール等での定期演奏会の他、東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市の各地域と事業提携を結び、定期演奏会、親子のためのコンサートや中高生などへの楽器ワークショップ等、地域の皆様との交流を通じ音楽の魅力をお届けしています。

文化庁「文化芸術による子供育成推進事業　巡回公演事業」

文化庁が主催する本事業として、日本全国の小中学校や特別支援学校を訪問し、一流の文化芸術団体による巡回公演を行っています。東京フィルは国内オーケストラでは唯一、文化庁から8年間の長期採択を受け(2014～2021年度)、東日本大震災地域を含む北海道･東北地区の小中学校115校、のべ46,279名の児童･生徒、地域の皆様と交流を行い、2019年度からは、これに加え、関東･東海･中国地区の小中学校61校のべ20,389名の児童･生徒に音楽をお届けしました。2022(令和4)年度からは、「文化芸術による子供育成推進事業」と事業名が変更となり、東京フィルは中国地区の担当として新たに長期採択(2022～2024年度)を受け5月から12月にかけ、小中学校14校を訪問し、ワークショップとオーケストラ公演を開催しました。

小学校体育館でのオーケストラ本公演

留学生の演奏会ご招待…留学生招待シート

東京フィルでは国際交流事業の一環として、海外からの留学生や研修員の方々を定期演奏会へご招待する「留学生招待シート」を設けており、皆様からご寄附いただいたチケットも有効に活用させていただきます。詳しくは東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)までお問合せください。

定期演奏会に来場のJICA東京研修生の皆様とチョン･ミョンフン(2019年7月東京オペラシティ定期)

©上野隆文

特別公演、公演協賛、広告のご案内

東京フィルハーモニー交響楽団は、様々な音楽活動を通して、企業様の大切な節目である周年記念事業や式典、福利厚生イベント等でご活用いただけるオンリーワンの特別企画を展開しております。

- **商品のプロモーションとして何か施策を考えたい**
- **社内向けイベントで室内楽の演奏を企画したい**
- **東京フィルの公演プログラムに広告を掲載したい**
- **新製品、サンプルを会場で販売・配布したい**

どうぞお気軽にご用命ください。

日中国交正常化45周年記念上海公演後のレセプションにて

【広告・協賛のお問合せ】東京フィルハーモニー交響楽団 広報渉外部
電話: 03-5353-9521（平日10時～18時）　Eメール: partner@tpo.or.jp

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策へのご協力のお願い

演奏会の開催にあたり、すべての関係者の安全と健康を最優先に、日本国政府・東京都および関係団体から発表された新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドラインに従い対策を講じております。引き続いてのご協力をお願い申し上げます。

ロビーや客席内での混雑回避にご協力ください。
会場内ではマスクの着用が推奨されております
（着脱はお客様のご判断でお願いいたします）。
入場時の検温・場内での咳エチケットのご協力をお願いいたします。
頻回の手洗い・手指の消毒をお願いいたします。
客席内は十分な換気・清拭を行っております。

ご協力、誠にありがとうございます。

東京フィルハーモニー交響楽団 1911年創立 楽団員
Tokyo Philharmonic Orchestra Since 1911 / Musicians

名誉音楽監督
Honorary Music Director

チョン・ミョンフン
Myung-Whun Chung

首席指揮者
Chief Conductor

アンドレア・バッティストーニ
Andrea Battistoni

桂冠指揮者
Conductor Laureate

尾高 忠明
Tadaaki Otaka

大野 和士
Kazushi Ono

ダン・エッティンガー
Dan Ettinger

特別客演指揮者
Special Guest Conductor

ミハイル・プレトニョフ
Mikhail Pletnev

アソシエイト・コンダクター
Associate Conductor

チョン・ミン
Min Chung

永久名誉指揮者
Permanent Honorary Conductor

山田 一雄
Kazuo Yamada

永久楽友・名誉指揮者
Permanent Member and
Honorary Conductor

大賀 典雄
Norio Ohga

コンサートマスター
Concertmasters

近藤 薫
Kaoru Kondo

三浦 章宏
Akihiro Miura

依田 真宣
Masanobu Yoda

第1ヴァイオリン
First Violins

小池 彩織☆
Saori Koike

榊原 菜若☆
Namo Sakakibara

坪井 夏美☆
Natsumi Tsuboi

平塚 佳子☆
Yoshiko Hiratsuka

浅見 善之
Yoshiyuki Asami

浦田 絵里
Eri Urata

景澤 恵子
Keiko Kagesawa

加藤 光
Hikaru Kato

巖築 朋美
Tomomi Ganchiku

坂口 正明
Masaaki Sakaguchi

鈴木 左久
Saku Suzuki

高田 あきの
Akino Takada

田中 秀子
Hideko Tanaka

栃本 三津子
Mitsuko Tochimoto

中澤 美紀
Miki Nakazawa

中丸 洋子
Hiroko Nakamaru

廣澤 育美
Ikumi Hirosawa

弘田 聡子
Satoko Hirota

藤瀬 実沙子
Misako Fujise

松田 朋子
Tomoko Matsuda

第2ヴァイオリン
Second Violins

藤村 政芳◎
Masayoshi Fujimura

水鳥 路◎
Michi Mizutori

宮川 正雪◎
Masayuki Miyakawa

小島 愛子☆
Aiko Kojima

高瀬 真由子☆
Mayuko Takase

石原 千草
Chigusa Ishihara

出原 麻智子
Machiko Idehara

太田 慶
Kei Ota

葛西 理恵
Rie Kasai

佐藤 実江子
Mieko Sato

二宮 祐子
Yuko Ninomiya

本堂 祐香
Yuuka Hondo

山代 裕子
Yuko Yamashiro

吉田 智子
Tomoko Yoshida

吉永 安希子
Akiko Yoshinaga

若井 須和子
Suwako Wakai

渡邉 みな子
Minako Watanabe

ヴィオラ
Violas

須田 祥子◎
Sachiko Suda

須藤 三千代◎
Michiyo Suto

髙平 純◎
Jun Takahira

加藤 大輔○
Daisuke Kato

今川 結☆
Yui Imagawa

杉浦 文☆
Aya Sugiura

伊藤 千絵
Chie Ito

岡保 文子
Ayako Okayasu

曽和 万里子
Mariko Sowa

高橋 映子
Eiko Takahashi

手塚 貴子
Takako Tezuka

中嶋 圭輔
Keisuke Nakajima

蛭海 たづ子
Tazuko Hirumi

古野 敦子
Atsuko Furuno

村上 直子
Naoko Murakami

森田 正治
Masaharu Morita

チェロ
Cellos

金木 博幸◎
Hiroyuki Kanaki
服部 誠◎
Makoto Hattori
渡邉 辰紀◎
Tatsuki Watanabe
黒川 実咲☆
Misaki Kurokawa
高麗 正史☆
Masashi Korai
石川 剛
Go Ishikawa
大内 麻央
Mao Ouchi
太田 徹
Tetsu Ota
菊池 武英
Takehide Kikuchi
佐々木 良伸
Yoshinobu Sasaki
長谷川 陽子
Yoko Hasegawa
渡邊 文月
Fuzuki Watanabe

コントラバス
Contrabasses

片岡 夢児◎
Yumeji Kataoka
黒木 岩寿◎
Iwahisa Kuroki
遠藤 柊一郎
Shuichiro Endo
小笠原 茅乃
Kayano Ogasawara
岡本 義輝
Yoshiteru Okamoto
小栗 亮太
Ryota Oguri
熊谷 麻弥
Maya Kumagai
菅原 政彦
Masahiko Sugawara
田邊 朋美
Tomomi Tanabe
中村 元優
Motomasa Nakamura

フルート
Flutes

神田 勇哉◎
Yuya Kanda
斉藤 和志◎
Kazushi Saito
吉岡 アカリ◎
Akari Yoshioka
さかはし 矢波
Yanami Sakahashi

オーボエ
Oboes

荒川 文吉◎
Bunkichi Arakawa
加瀬 孝宏◎
Takahiro Kase
佐竹 正史◎
Masashi Satake
杉本 真木
Maki Sugimoto
若林 沙弥香
Sayaka Wakabayashi

クラリネット
Clarinets

アレッサンドロ・ベヴェラリ◎
Alessandro Beverari
万行 千秋◎
Chiaki Mangyo
黒尾 文恵
Fumie Kuroo
林 直樹
Naoki Hayashi

ファゴット
Bassoons

チェ・ヨンジン◎
Young-Jin Choe
廣幡 敦子◎
Atsuko Hirohata
井村 裕美
Hiromi Imura
桔川 由美
Yumi Kikkawa
森 純一
Junichi Mori

ホルン
Horns

齋藤 雄介◎
Yusuke Saito
高橋 臣宜◎
Takanori Takahashi
磯部 保彦
Yasuhiko Isobe
大東 周
Shu Ohigashi
木村 俊介
Shunsuke Kimura
田場 英子
Eiko Taba
塚田 聡
Satoshi Tsukada
豊田 万紀
Maki Toyoda
山内 研自
Kenji Yamanouchi
山本 友宏
Tomohiro Yamamoto

トランペット
Trumpets

川田 修一◎
Shuichi Kawata
野田 亮◎
Ryo Noda
古田 俊博◎
Toshihiro Furuta
杉山 眞彦
Masahiko Sugiyama
前田 寛人
Hirohito Maeda

トロンボーン
Trombones

五箇 正明◎
Masaaki Goka
中西 和泉◎
Izumi Nakanishi
辻 姫子○
Himeko Tsuji
石川 浩
Hiroshi Ishikawa
平田 慎
Shin Hirata
山内 正博
Masahiro Yamauchi

テューバ
Tubas

大塚 哲也
Tetsuya Otsuka
荻野 晋
Shin Ogino

ティンパニ&パーカッション
Timpani & Percussion

岡部 亮登◎
Ryoto Okabe
塩田 拓郎◎
Takuro Shiota
秋田 孝訓
Takanori Akita
木村 達志
Tatsushi Kimura
鷹羽 香緒里
Kaori Takaba
中村 勇輝
Yuki Nakamura
縄田 喜久子
Kikuko Nawata
船迫 優子
Yuko Funasako
古谷 はるみ
Harumi Furuya

ハープ
Harps

梶 彩乃
Ayano Kaji
田島 緑
Midori Tajima

ライブラリアン
Librarians

武田 基樹
Motoki Takeda

ステージマネージャー
Stage Managers

稲岡 宏司
Hiroshi Inaoka
大田 淳志
Atsushi Ota
古谷 寛
Hiroshi Furuya

◎首席奏者
Principal

○副首席奏者
Assistant Principal

☆フォアシュピーラー
Vorspieler

東京フィルハーモニー交響楽団

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン･ミョンフン、首席指揮者アンドレア･バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル･プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ･バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』『いないいないばあっ!』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ 1年半の闘い～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。

1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

Tokyo Philharmonic Orchestra

In 2023, the Tokyo Philharmonic Orchestra celebrates its 112th anniversary as Japan's first symphony orchestra. With about 160 musicians, TPO performs both symphonies and operas regularly. TPO is proud to have appointed Maestro Myung-Whun Chung, who has been conducting TPO since 2001, as Honorary Music Director, Maestro Andrea Battistoni as Chief Conductor and Maestro Mikhail Pletnev as Special Guest Conductor.

TPO has established its world-class reputation through its subscription concert series, regular opera and ballet assignments at the New National Theatre, and a full, ever in-demand agenda around Japan and the world, including broadcasting with NHK Broadcasting Corporation, various educational programs, and tours abroad.

TPO has partnerships with Bunkamura Orchard Hall, the Bunkyo Ward in Tokyo, Chiba City, Karuizawa Cho in Nagano and Nagaoka City in Niigata.

Official Website / SNS **https://www.tpo.or.jp/**

©上野隆文

東京フィルWEB

役員等·事務局·団友

役員等（理事·監事および評議員）

理事長
三木谷 浩史

副理事長
黒柳 徹子

専務理事
石丸 恭一

常務理事
工藤 真実

理事
浮舟 邦彦
大賀 昭雄
大塚 雄二郎
小山田 隆
篠澤 恭助
田沼 千秋
寺田 琢
遠山 敦子
野本 弘文
韓 昌祐
平井 康文
宮内 義彦

監事
岩崎 守康
山野 政彦

評議員
伊東 信一郎
海老澤 敏
佐治 信忠
鈴木 勲
鈴木 啓介
瀬谷 博道
日枝 久

事務局

楽団長
石丸 恭一

事務局長
工藤 真実

公演事業部
市川 悠一
岩崎 井織
大久保 里香
大谷 絵梨奈
佐藤 若菜
村尾 真希子

ステージマネージャー
稲岡 宏司
大田 淳志
古谷 寛

ライブラリアン
武田 基樹

広報渉外部
伊藤 唯
鹿又 紀乃
千木 加寿子
二木 憲史
星野 友子
松井 ひさえ
安田 ひとみ

総務·経理
川原 明夫
鈴木 美絵

団友

安藤 栄作
池田 敏美
糸井 正博
今井 彰
井料 和彦
岩崎 龍彦
植木 佳奈
上野 眞行
生方 正好
大兼久 輝宴
大澤 昌生
大和田 皓
岡部 純
小樽 敦子
小山 智子
甲斐沢 俊昭
加藤 明広
加藤 博文
金崎 真由美
川人 洋二
木村 友博
黒川 正三
河野 啓子
近藤 勉
今野 芳雄
齊藤 匠
坂口 和子
嵯峨 正雄
嵯峨 美穂子
桜木 弘子
笹 翠
佐々木 等
佐野 恭一
清水 真佐子
瀬尾 勝保
高岩 紀子
高野 和彦
高村 千代子
竹林 良
竹林 陽子
田中 千枝
田村 武雄
津田 好美
戸坂 恭毅
長池 陽次郎
長岡 慎
長倉 穣司
新田 清枝
新田 伸雄
二宮 純
野仲 啓之助
畑中 和子
玻名城 昌子
福村 忠雄
藤原 勲
古野 淳
細川 克己
細洞 寛
本田 詩子
松澤 久美子
湊 貞男
宮原 真弓
山屋 房子
吉田 啓義
米倉 浩喜
脇屋 俊介

〈発行日〉2023（令和5）年4月15日　〈発行人〉石丸 恭一
〈発行所〉東京フィルハーモニー交響楽団
〒163-1408 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー8F　Tel 03-5353-9521 Fax 03-5353-9523
フランチャイズ·ホール: Bunkamuraオーチャードホール　提携: 千葉市 文京区 軽井沢町 長岡市
〈デザイン〉米田デザイン事務所　〈表紙画〉ハラダチエ　〈編集協力〉ひとま舎
〈印　刷〉欧文印刷株式会社
©Tokyo Philharmonic Orchestra ＊無断転載を禁ず（非売品）

Afternoon Concerts 2023 season